

< 農業生産法人、集落営農組織の育成を実施している事例 >

高齢者・女性等に優しい集落営農を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮崎県西臼杵郡高千穂町 中川登			
協定面積 34ha	田(97%)	畑(3%)	草地	採草放牧地
	水稻・タバコ	飼料		
交付金額 700万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	水路・農道の維持管理		36%
		共同機械の購入		45%
		直売所建設・案山子農園・研修費		14%
事務費・役員手当等		5%		
協定参加者	農業者43人			

2. 取組に至る経緯

中川登地区内の半数の農地は担い手に集積されるなど、有効に利用されているが、高齢化が進む中で今後、耕作放棄地の発生が見込まれることから、農地を維持するために担い手を中心とした受託組織の体制づくりが必要となってきた。そのような中、平成17年度総会において集落営農への取組を決議、アンケートの実施を経て、集落営農推進委員会を組織し、協議を重ねながら集落の合意形成を図ってきた。

現在では、活動の中心となる水稻のコスト低減と作業受託を図るため、集落内の余剰機械の共同利用や計画的な機械導入を行うこと、今後の担い手の育成を踏まえた組織の充実を図ること、集落営農の意識を集落全体で醸成していくこと等の方針に基づき、集落営農の取組を進めている。

3. 取組の内容

平成17年度から稲作の共同機械の導入を進め、畦塗り機、コンバイン、乾燥機、ロールベア等を整備してきた。平成19年度には共同機械倉庫を建設し、タバコ農家を主体とした中核農家で作るオペレーター組合も設立し、受託作業を開始した。

また、平成19年度には、ばあちゃんと子どもたちのふれあい農園「案山子農園」を開設し、野菜作りに取り組んだ。平成20年度には、じいちゃん手づくりの茅葺直売所「案山子屋」も開設し、農園や集落内で生産された野菜の販売も始まった。



導入したコンバインのオペレーター研修



ばあちゃんと子どもの案山子農園

[集落の将来像]

稲作の一連の作業や稲わらの収集、堆肥の運搬等の受託体制を整え、高齢者・女性・兼業農家と核心的な農家との協力により、経済的、労働的にも負担の少ない集落営農を築く。
また、条件的に不利な農地については高付加価値な新規作物の導入も検討する。

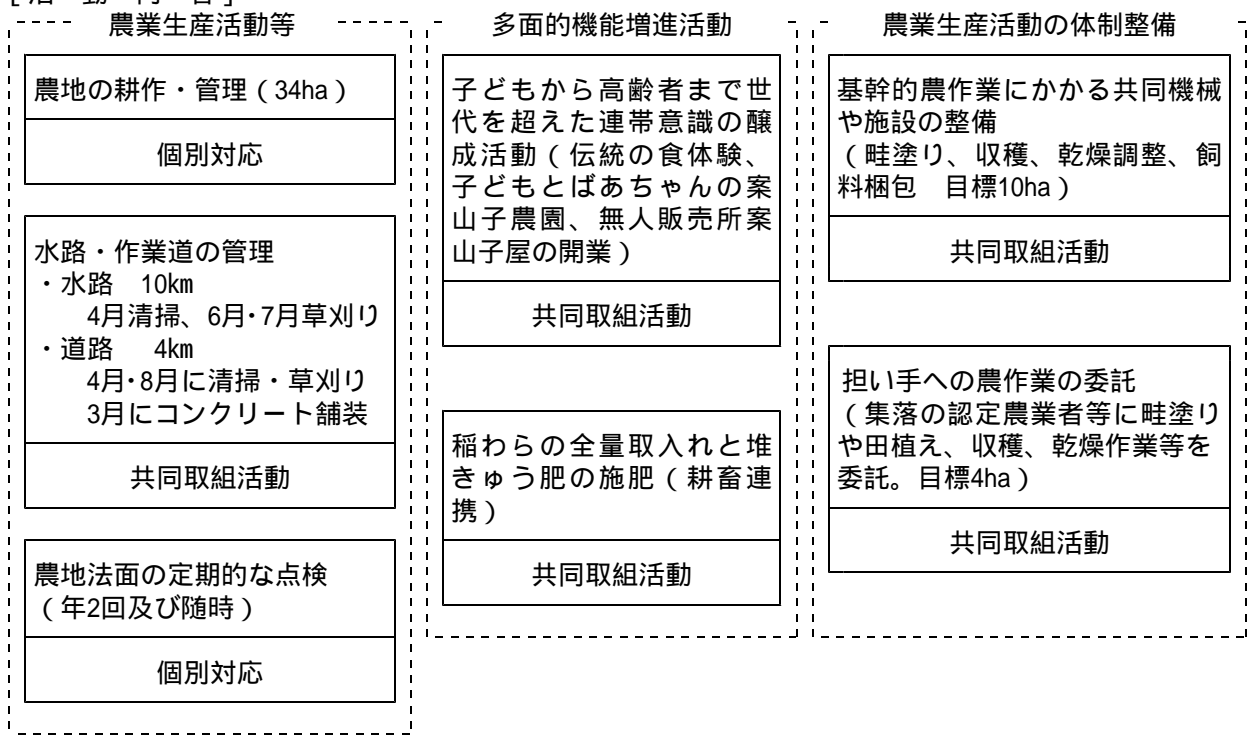


[将来像を実現するための活動目標]

農作業の利便性を高めるため、農道・水路の整備を進めつつ、稲作・畜産機械の共同利用、作業の受委託を進め、稲わらの全量取り入れ、畜産農家への提供、堆肥の農地への還元を行い、低コスト、軽労働での循環型の集落営農を目指す。

- ・稲作への過剰投資を解消するため、機械の共同利用、植付、収穫、乾燥作業の受委託を推進
- ・集落内での稲わら全量取り入れ、良質堆肥の農地還元
- ・水路、農道の整備（素掘り水路の解消、農道の幅員の確保、舗装）

[活 動 内 容]



4 . 取組による変化と今後の課題等

これらの取組が、付加価値の高い農産物生産と消費者との交流、高齢者の生きがい作り等につながり、集落が活性化されている。

今後の課題としては、農作業受託を水稻全般に広げることが求められており、それに対応する共同機械の整備や受託組織の法人化が挙げられる。また、今後は新規作物の試作や農園の面積拡大と直売所の充実に取り組むことにしており、集落内の加工所を活用した女性農業者による農産加工の取組も検討している。

[平成20年度までの主な効果]

共同機械の導入とオペレーター組織の設立により、受託作業面積が拡大、持続可能な集落営農への取組が始まった。（目標10ha、H19実績 畦塗り9.7ha、収穫4.9ha、乾燥調整7.3ha(1,253袋)、飼料梱包5ha(1,995個)・H20実績 畦塗り10.8ha、収穫6.2ha、乾燥調整8.2ha(1,476袋)、飼料梱包11ha(4,667個)）

集落営農の取組により、将来の集落営農への共通認識が広まり、集落の連帯意識が強まった。

高齢者や子どもたちを巻き込んだ活動が、伝統的な食の見直しや高付加価値農産物の作付け、地産地消の意識の高まり等につながり、集落の魅力の再発見や意識の変化が促された。